



ひとにやさしく か んぱりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！413名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。】

心静かに6年生の素敵な俳句の世界をみつめました。

世界の文芸界でここ数年脚光を浴びており、世界で一番短い詩と言われている「俳句」。字余りも、字足らずも、季語が二つあるなど・・・それも作品の個性です。記憶があいまいですが、6年生が1年生のころまで、飯塚市文化連盟さん・飯塚市文化連合会さん（文連）主催で、少年少女俳句コンクールが開催されていました。（53年前の昭和47年スタート）資金難であったためか、中止になって数年がたちますが、飯塚東小学校の6年生の俳句作品を見せていただき、心静かに四季を振り返ることができましたし、そのお子さんの思いや願いや生活の一部を感じ、感性の豊かさにふれることができたことを感謝申し上げます。そのコンクールでは春、夏、秋、冬の季節の句でも出してよかったので6年生の先生方はいい課題の出し方をされているなと思いました。学校名や作者は個人情報漏洩防止等の観点で言えませんが、思い出に残っている俳句も2句あります。①1年生の句で「おでんの日 メガネが 曇ってみえないよ」と、②6年生の句で「イチヨウの葉 ながめていたら 落ちてきた」です。どちらも秀逸【優秀賞】でした。①の句はおでんを囲むにぎやかな食卓を囲む素直な描写のかわいい感性あふれる作品だな。とわかりますが、②の句はなぜ優秀賞なのかわかりませんでした。当たり前すぎ？・・・わたしは、実は②の学校の先生にどんなお子さんですか？素敵ですね。と尋ねました。するとその担任の先生は、「あーあの子は昨年の秋から入院をしています。」

私が通信に俳句の課題を載せていたら、お家の方が届けられたので応募したのです。その時の句です。」とおっしゃって私は「はっ」としました。その子は、入院先の病院でイチヨウの木をずっとずっと眺めていたのでしょうか。おうちの方に車いすを押してもらって散歩中だったかもしれません。すると、1枚イチヨウの葉がひらひらと舞って自分の近くに落ちてきた様子を俳句にされたのかもしれません。素直な描写の向こうにいろいろな思いで表現された方の作品だったという事実をしり、自分の考えの浅はかさに反省するとともに、選考に敗れたことを思い出しました。本校の6年生の皆さんの作品にも四季折々の感動のドラマがあったにちがいないと思います。趣深く素敵な作品の数々でした。6年生の皆さん・・・。6年生の先生方・・・。掲示くださってありがとうございました。

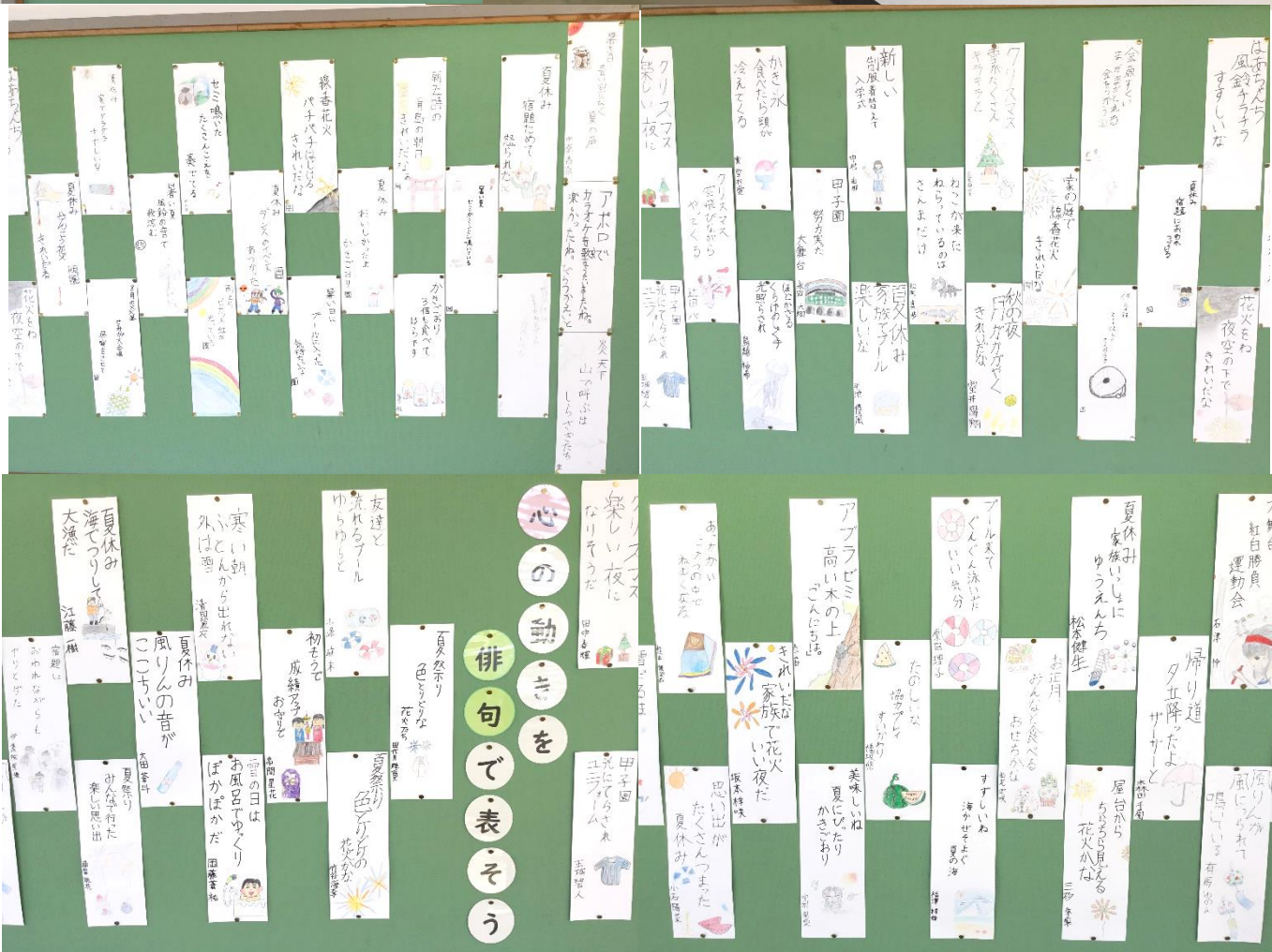
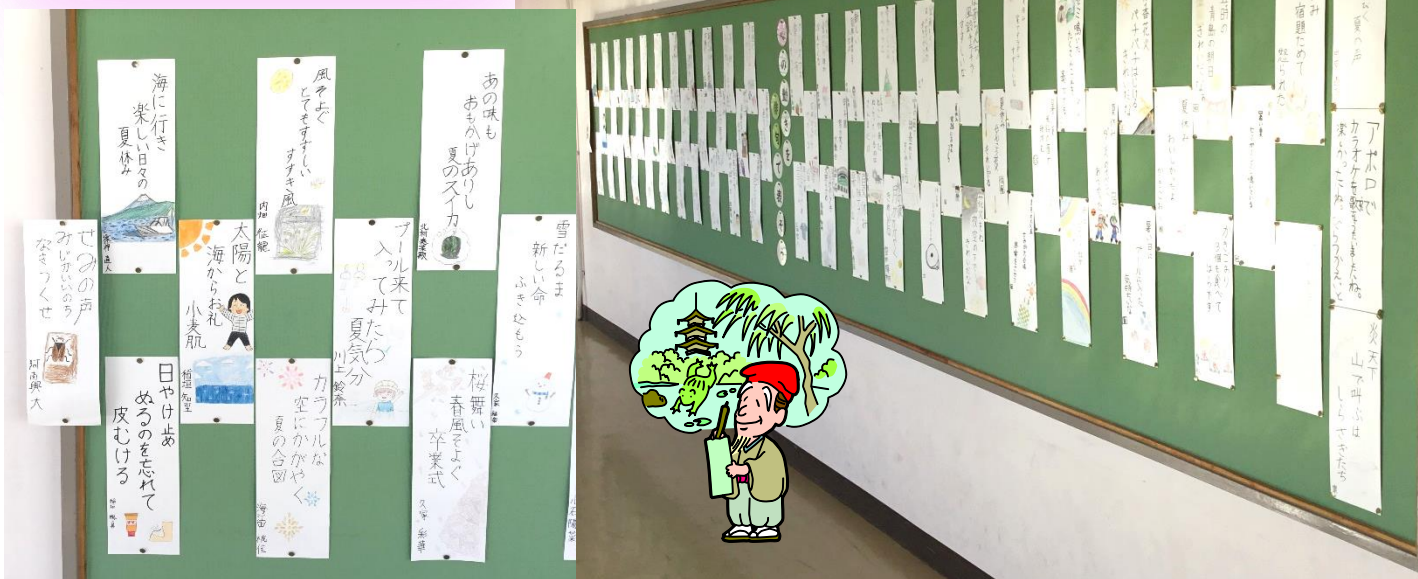
PS 先日の満月や運動会を描写した素敵で、タイムリーな作品もありました。スクロールして見ていただきたいと思います。

※写真はリレーの練習をする本日の6年生の皆さんです。下の写真は6年生の先生方です。バックは次の体育時間に準備されている1年生の皆さんです。1年生とは思えないくらいきびきび活動していて素晴らしい動きでいらっやいます。あおぞら学級の先生方は教室に行かれていました。ごめんなさい。



6年生の作品（俳句編）

スマホでスクロールしてみてください。素敵ですよ



私は努力の跡を見つけました。それは、TT ルームで、心を込めて応援団旗製作も6年生の児童の応援団旗係の皆さんが心を込めて製作されているという頑張りを……。

